

平成30年10月10日

サイバーセキュリティ関連情報（10月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ フェイスブック25万人分の個人情報ネット流出

交流サイト大手フェイスブックの利用者のものと認められる携帯電話番号やメッセージのやりとりなどの個人情報がインターネット上に大量流出していたことがわかった。

サイバー攻撃による漏えいの可能性があり、日本人のものを含む世界各国の利用者25万人分以上に上るとみられる。

マーク・ザッカーバーグ最高経営責任者は問題を深刻に受け止めセキュリティ対策への投資を続けると説明している。

参考 共同通信社 <https://this.kiji.is/421237905324950625>



ニューヨークの繁華街のスクリーンに表示されたフェイスブックのロゴ（3月）（AP-共同）

○ 日本気象協会を装う迷惑メールでウイルス感染のおそれ

日本気象協会は、同協会の天気予報専門メディア「tenki.jp」を装った迷惑メールが相次いで送られていると発表した。

同協会によると、「台風は最悪のコースへ」「お住まいの地域が冠水する危険性があります」などの文面で危機感をあおり、リンクされたサイトにアクセスしたり、添付ファイルを開いたりするとコンピューターウイルスに感染するおそれがあるとして、リンク先アドレスを絶対にクリックしないよう注意を呼び掛けている。

ニュースリリース・日本気象協会からのお知らせ

ニュースリリース

2018.10.05

日本気象協会を装った迷惑メールにご注意ください

日本気象協会や、日本気象協会の天気予報専門メディア「tenki.jp」を装った迷惑メール／詐欺メールが届いたとのご連絡を多数いただいています。

このような迷惑メール／詐欺メールは日本気象協会とは一切関係がありません。

また、日本気象協会は個人で「tenki.jp」などのサービスを利用されている方の電子メールアドレスを保有しておらず、日本気象協会から特定/不特定の個人の方に対して電子メールによるご案内を行っていません。

参考 日本気象協会 <https://www.jwa.or.jp/news/2018/10/post-001087.html>